



夏本番 腕を競う太公望 今年の釣果は

第290回

6月定例会

議案18件を可決・承認・同意

お年寄りに優しいまちづくり
交通安全宣言に関する決議等

市会案4件も可決

第二百九十回定例会市議会は六月十一日に開会され、理事者から提出された議案十八件と市会案五件等を審議しました。

初日は、会期を二十四日までの十四日間と定めた後、平成九年度一般会計補正予算案をはじめとする十六議案についての提案理由説明が行われました。

十七日には、一般質問が行われ、

常見悦郎（清風会）、宇野政市郎（友心会）

岡田高大（清風会）、幾山秀一（友心会）

栄 正夫（共産党）の五議員が、

また、十八日には、

牧野 勇（清風会）、米村輝子（友心会）

高岡和行（清風会）、浦井智治（共産党）

野田幾久代（無）の五議員が、それぞれ質問に立ちました。

質問終了後、し尿処理施設建設工事業請負契約についての一議案が追加上程され、その後、請願・陳情が上程されました。

そして、これらは初日上程の議案とともに、十八日の最後に、所管の各委員会に付託されました。

最終日には、各委員長報告の後、議案等の採決が行われ、議案十七件はいずれも原案のとおり可決、承認。

続いて、人事に関する追加議案一件に同意しました。

市会案五件のうち、委員推薦にかかる市会案一件、決議にかかる市会案一件、意見書提出にかかる市会案二件が可決され、意見書提出にかかる市会案一件については、継続審査と決しました。

また、皆さんから提出された請願・陳情の審議結果は、別掲のとおりです。

市政をきく 一般質問から

市街地西部アクセス および 亀山周辺 整備計画の展望

問 ①都市マスタープラン策定委員会と市民会議に対する行政側の諮問経緯を聞きたい。
②「西部アクセスは必要、大高跡地はまちづくりの拠点」と提示しているが、西校の移転、改築問題は、一体どのように考えているのか。
③西部アクセスと拠点整備事業は、合計で約百億円とも試算されているが、現実的に実施可能な範囲を示すべきではないか。
④事業の期間は二十年とも聞くが、いつ、何から、何処から、どのように着工するのか、個々の計画年次を聞きたい。
⑤亀山周辺整備計画と織物組合の倉庫を譲り受けて整備する計画との整合性はどうか。

答 ①九月二十六日の二回目委員会に亀山周辺の整備方針として、トンネル案の図面、都市計画審議会と西部アクセス道路の経緯書を示し、市街地の特性を生かした顔づくりの観点から、大野高校跡地と周辺の拠点整備を優先することが肝要との考えを表明し、市の提案もした。
しかし、あくまでも市の考え方を特定するものではなく、亀山トンネル案も含めて慎重審議の上で進め、委員会として議論してもらおうよう要請をし、多種多様の議論があつて、これも勘案しながら今後の都市計画を考へていきたい。

なお、熱心な議論の下、策定委員会は七回の会議を重ねて、六月九日付けで最終委員会報告と亀山周辺整備方針に関する報告も示されたところで、西校の移転問題については将来に夢を持った計画としながら非常に論議があつたところである。

②亀山周辺整備に関しては、

「西部アクセス道路を六間通りに結ぶ」「大野高校跡地をまちづくりの拠点として有効活用」また「西校は校区内の現在地近くで建て替え」という市民の期待を踏まえて議論が交わされ、

策定委員会では、現在地南側の民有地を確保して建て替える案がまとめとして了承された。

地元にも説明した訳でなく、国や県とも協議をしていない中での方針提示となつた背景や特に、犬山区地権者の方々に迷惑をかけている現状から、早期解決の一つの方向性を提示する必要性等も理解してほしい。

有終西小学校は昭和三十四年までに建築されて、耐用年数は六十年で、過去三回の大規模改修を実施してきたが、未改修は廊下と教員室等の管理部門のみで、最低限教育に支障のない範囲の改修を進めており、現在地南側の改築位置案については、選択肢の一つとして、今後、関係者の意見を十分聞いて決めたかと考えている。

③国道から新堀沿いを通り六間に結ぶ西部アクセス道路整備には約二十八億円余、西校の移転

審議日程

11日	本会議 (会期の決定、議案上程・提案理由の説明)
12日	休会
16日	休会
17日	本会議 (一般質問)
18日	本会議 (一般質問、追加議案上程、請願・陳情上程、各案件委員会付託)
19日	常任委員会 (建設・産業経済)
20日	常任委員会 (総務・教育民生)
21日	休会
22日	休会
23日	特別委員会 (中部縦貫自動車道等整備促進)
24日	本会議 (各委員長報告・質疑・討論・採決、追加議案上程・採決、市会案上程・採決)

費用(用地費を含まず)には十三億円程が必要と想定され、亀山周辺拠点整備については相当多額になると考えている。

これらの事業を具体化するには相当規模の費用が必要で、十分な検討期間を設けて他の事業も含めた実施・財源計画を立てる必要があると考えている。

一方、現在の標準財政規模は八十七億で誠に厳しい財政運営が見込まれ、都市マスタープランの事業化など大型プロジェクトの推進には財源状況を十分に

見極めながら、国・県の施策を効率的に活用し、交付税の算入がある有利な起債を適用するなど、常に財政力を念頭に財政危機を招くことのないようにしなければならぬと考えている。

④短期的(五、六年程)には、西部アクセス道路を犬山区地権者の理解も得て、亀山西の現道までを優先して県に要請し、早期完成を目指す努力を重ね、同時に大高跡地の拠点整備も十分検討しながら、計画の立案をしなければならず、中・長期的には六間までのアクセス道路整備に着手し、併せて拠点整備も継続して進めていきたい。

⑤平成大野屋を取り入れた施設として、亀山周辺施設整備に先駆けて計画をしているが、一部機能の重複する可能性も考えられ、その場合は機能を移転するなど、十分に整合性を図ってきたいと考えている。

人事案件

固定資産評価審査委員会
委員の任命に同意

山内 静 氏(64歳)
(春日一丁目11番10号)



高まる関心
西部アクセス道路計画地

リサイクル型社会の 実現について



し、五十一トンの減量になり、また、分別収集で紙類の減少から、二割程度の焼却時間が短縮され、予想以上の成果があったと考えている。

今後、区長・リサイクル推進員と連絡を密にして、各地区の説明会を積極的に行い、啓蒙活動に努めたいと考えている。

②昨年十一月から回収を行っており、現在までに冷蔵庫三百二十二台から約三千キログラム、エアコン六十四台から四十二キログラムを回収し、ストックしており、本年度は県が回収し、県外の通産省指定処理施設へ搬入するが、来年度以降は各市で対応することになっている。

問 ①ゴミ分別収集状況とその成果、また、住民への啓蒙、推進員の活動策など今後の取り組みを聞きたい。

②フロンの回収状況と以後の処置、また、二酸化炭素やダイオキシンの対策の取り組みはどのようになっているのか。

③実現に不可欠な、出口対策の具体的な取り組みと今後の計画について聞きたい。

答 四月の状況は、古紙類約六十四トン、缶類約十四トン、ペットボトル一万四千五百本で七百二十五キログラムであった。効果として、収集可燃物は、昨年四月が五百七十六トンに対

化を図りたいと考えている。一方、「容器包装リサイクル法」による分別収集計画は、三年毎の見直し規定により、問題点等が生じた場合、その時点で対処したいと考えている。

環境美化と 不法投棄について

問 ①地区を挙げて取り組む不法投棄物撤去に対し、助成措置の考えはないか。

②河川美化の見地から、生い茂る葦が景観を悪くしているが対応策はないのか。

答 ①対応策として、クリーンセンターでは日曜日を粗大ごみ類特別持ち込み日とし、昨年度は三回実施したが、今後、回数を増やす方向で検討している。

②福井県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会「奥越ブロック」では、夜間を含めたパトロールを実施しており、一方、不法投棄に対する罰則の強化を含めた法律改正されたところである。

なお、不法投棄されたゴミ類としてステーションへ放置されたもの、私有地等に投棄されたものを直接持ち込めば処理手数料等は考慮しており、防止看板

たもの、私有地等に投棄されたものを直接持ち込めば処理手数料等は考慮しており、防止看板



を地区に配布する等、啓発活動にも努めたいと考えている。

②河川管理者の県が「ふれあい川づくり」事業として、部分的ではあるが、十河川の刈り取りを予定しており、河川の通水に支障となる葦の除去も含めた体積土砂の撤去や、立木の伐採等にも「河川維持修繕事業」で取り組んでいる。

なお、市が管理する河川は毎年水路清掃を行なうとともに、各地区へ水路清掃を委託して、河川の美化に努めている。

基金の運用について

問 ①約五十億円余の基金を、運用目的別に分類した比率はどのようにになっているのか。

②果実運用型の基金は低金利時代の今、実質運営費用との差が大きくなり、取り崩して一般財源に組み入れることができないか。

答 ①大別すると、特定の目的で財産を維持する積立基金と、定額の資金を運用する定額運用基金に区別できる。

昨年度末の積立基金は、一般会計分で財政調整基金など十九基金約四十二億七千万円、特別会計分では国民健康保険基金等三基金約五億二千九百万円で、八一・四パーセント、また、定

額運用基金は、土地開発基金など三基金で約十億九千万円となっている。

なお、構成比率は財政調整基金三一・六パーセント、施設整備関係基金は四基金で一・八パーセント、厚生基金等五基金で九・七パーセント、商業振興基金二・三パーセント、管理運営基金関係は、二基金で一・九・七パーセントとなる。

②積立基金の運用は、基金の果実を運用する方法と基金を取り崩して運用する方法とがある。

有終会館や、エキサイト広場管理運営基金の運用から生じる収益金は、一般会計予算に計上し、管理運営経費に充てるが、最近の低金利状況下では果実の不足分を一般会計から補てんしているのが実情であるが、基金は貴重な一つの財産と位置付けて、施設の運営経費に満たないとして処分することは、適切な基金管理とは考えていない。

従って、一般財源から補てんを少なくするため、極力施設の維持管理費の削減に努め、今後の金利動向を見極め、適正な運用に努めたいと考えている。

商業振興基金は、中小企業等事業者の事業振興が目的であり一層適切な基金運用に努め、今後とも事業の必要性や事業規模等に配慮して、必要な財源措置を講じたいと考えている。

平家平の
環境保全管理策は

問 ①憩いの場としての利用を

考え、入山者のため駐車場・休憩場等の整備計画はあるのか。

②ブナ林の保全と、広く栽培されているオウレン等の維持管理をどうするのか。

③森林公園としての活用計画はどのように進めるのか。

答 ①駐車場やトイレの計画は本年度の入林状況を把握し、必要性を十分見極めながら判断したい。

②約四十ヘクタールのブナ林管理は、本年度から森林組合に委託し、枯木を除去するなど美観に配慮し保全に努めたい。

なお、約二十ヘクタールのオウレン畑維持管理は、数年に分けて除草して育てていくが、荒らされないように、週二回のパトロールを実施している。

③環境の保全を第一に考え、貴重な自然を子孫に引き継ぐため自然のままの森林公園として活用していく方針であり、本年度より六名の調査員が、動植物の生態や分布調査及び有効活用の手法研究として、自然環境現況調査を行い、来十年度に専門家や識者からなる検討委員会を設けて、具体的な活用計画を策定

し、人と自然との共生を図り整備をしていく方針である。

当面は、案内標識板設置や遊歩道、登山道の補修等の整備にとどめ、自然保護・保全の観点から車の進入は禁止している。



市営住宅の
政策について

問 ①今後の住宅建設には、市

街地中心部に高齢者へ配慮した老人ケアの集合住宅として計画出来ないのか。

②入居を希望する団地には長期間の不在も見られることなど、問題があり実態調査の上、適切な処置を取るべきではないか。

答 ①住宅施策でも急速に増加する高齢者に居住の安定を図ることが必要となっており、特に市営住宅は、高齢者などの社会的弱者や住宅に困窮している人

に対して的確に供給することが重要な課題となっている。

また、近親者の介護を得られない高齢者世帯については、住宅設備等への配慮だけでなく生活指導や相談、さらに緊急時の対応等が行える者を適切に配置することが必要と考えている。

このような観点から、今後の住宅整備に際しては、床面の段差解消、手すりの設置など、高齢者の生活に対応した住宅の建設を推進していくことが肝要であり、また、ケアサービス等については、関係部局との密接な連携を図りながら、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができる体制を整えていきたいと考えている。

②現在、七団地二百十八戸の市営住宅を管理しているが、新在家・中津川団地等は老朽化による建て替え準備のため新規の入居募集はしておらず、中挾・西里・下舌各団地百十八戸については空き家ができ次第、随時入居募集を行い新規の需要に対応しているところである。

なお、西里団地には長期間不在のままとなっている住宅もあり、これまでも再三、明け渡しを要請しているが、それぞれの事情から今だ解決には至っておらず、今後、早急に問題解決を図り適切な住宅管理に努めていきたいと考えている。

議案等の審議結果

議案番号	件名	結果
第四十三号	平成九年度大野市一般会計補正予算(第一号)案	原案可決
第四十四号	平成九年度大野市老人保健特別会計補正予算(第一号)案	原案可決
第四十五号	平成九年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第一号)案	原案可決
第四十六号	平成九年度大野市下水道事業特別会計補正予算(第一号)案	原案可決
第四十七号	大野市農村環境改善センター設置条例案	原案可決
第四十八号	大野市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	原案可決
第四十九号	大野市史編さん委員会設置条例の一部を改正する条例案	原案可決
第五十号	大野市高齢者に対するはり・きゅう及びマッサージ療養費の助成に関する条例の全部を改正する条例案	原案可決
第五十一号	大野市ホームヘルパー派遣手数料徴収条例の一部を改正する条例案	原案可決
第五十二号	大野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決
第五十三号	大野市休日急患診療所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決
第五十四号	大野市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決
第五十五号	福井県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更について	原案可決
第五十六号	福井県市町村非常勤職員公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更について	原案可決
第五十七号	専決処分承認を求めることについて(平成八年度大野市一般会計補正承認予算(第6号))	承認
第五十八号	専決処分承認を求めることについて(大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	承認

畦畔の有効活用策は



「あぜ」の活用も時の移り変わりに流されて

から、広く普及しなかった。畦畔の活用策は、農業試験場でも研究しているが、グラウンドカバー以外有効な利用方法が見あたらない現状だが、有効利用の研究支援は、他の有効な方法が見つかった段階で考えたい。

九月補正に望む

問 建設省の全国交通安全運動実施計画に伴い、本年四月に施設等の総点検が下庄地区をモデルに行われ、数多くの危険箇所や補修箇所が指摘されたが、安全確保のためにも九月に大幅な補正を考えてはどうか。

答 今年度は、し尿処理施設更新をはじめ、大型プロジェクトを数多く計上しており、これらは長年の懸案事項であるとともに、遅れている社会基盤整備の面からも将来を

た国の地方財政計画のとおり伸びは期待できない現状にあり、歳出には、県営事業負担金をはじめ除雪経費、緊急性のある事務事業の経費等があり、厳しい財政運営が強いられるものと思している。

以上のことから、補正の財源の確保は大変困難を極め、土木費に限らず事務事業全般にわたる事業の効果、緊急度、必要性を十分見極めながら優先順位を精査しつつ、今後の財政状況を十分に踏まえて予算編成にあたりたいと考えている。

健全な農地調整と商業調整とは

問 ①大型店出店により、水稲栽培面積が確実に減少するが、健全農業に影響がないのか。②空き家空き地に出店する商業

問 中山間地域の畦畔草刈りに対し、有効利用策の研究支援を積極的に行う考えはないか。

答 水田区画の大型化に伴い、畦畔の除草作業を軽減するとともに、潤いのある水田景観を目的として、平成五年度から三年間、モデル集落を設けてグラウンドカバーとなる松葉菊・芝桜等の増殖園、植栽方法を研究のため試験圃場設置等に助成する「水田景観うるおいの里作り事業」を実施した。

また、生産施設等にも助成を行ったが、雪による生育障害、苗の価格が高いこと、植栽後の増殖が予定通り進まないこと等

方向付ける重要な事業であり、継続して取り組む必要があると考えている。

こうした状況の下、歳入では厳しい経済環境から市税の伸びは期待できず、地方交付税もま

農業委員を推薦

6月30日で任期満了となった、農業委員会委員のうち、学識経験者として、議会が推薦する委員に次の3氏を推薦しました。

- 土本けい子氏 (48歳 庄林)
- 建石 正治氏 (48歳 五條方)
- 佐藤 善夫氏 (63歳 土打)

第五十九号	大野市し尿処理施設建設工事請負契約について	原案可決
第六十号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
市会案第三号	農業委員会委員の推薦について	原案可決
市会案第四号	「お年寄りに優しいまちづくり交通安全宣言」に関する決議	原案可決
市会案第五号	郵政事業の経営形態堅持に関する意見書	原案可決
市会案第六号	公共交通に関する規制緩和と導入に関する意見書	原案可決
市会案第七号	地方債の低利への借り換え等に関する意見書	継続審査

者の助成と、大型店進出による影響をどう考えているか。

答 ①大型店の出店は、大規模小売店舗法の規制緩和やモータリゼーションによる駐車場を備えた郊外型店舗の需要増加によると考えられ、建設費等の低コスト化のため、農地に求めざるを得ない経済環境でもあるが、農地は農業経営の生産基盤であって、法に基づく農業振興地域整備計画を定めている。

現計画は、農地区域を四千九十五ヘクタールと定め、優良農地の管理と確保に努めており、これの転用は法による厳しい制限の下、農業の健全な発展を図るための施策も定めている。

優良農用地を無秩序に転用することは問題が多く、経済的、現実的には若干宅地等への転用はやむを得ないと考えている。

数年間の転用は年平均約六ヘ

クターで、農業振興整備促進協議会の意見や農業委員会の審議をえて対応している。

②昨年度、商店街振興対策の一環として、空地空家活性化対策事業補助金交付要綱を定め、取り組んでおり、卸売及び小売業と製造の伴う小売業を目的に、店舗を開設する者等に、五十万円を限度に助成している。

第一号店は昨年六月に三番商店街へ出店したが、その後数件の希望があり、商工会議所の空地空家対策特別委員会調整を図っているが、実現には至っていない。

なお、大型店出店による影響は、第一号店はもとより、希望業種も魚介類の販売や理容・美容等のサービス業であり、いずれも大型店との競合がなく、影響は少ないと考えている。



小中学校における
インターネット配置に
ついて



る計画である。
昨年度からは、インターネットに対応できる新機種の導入も
行い、今後とも情報化社会に
対応できる児童生徒を育成する
ため、機種の整備と指導者の資
向上に努めたいと考えている。

農業集落排水事業に
ついて

問 ①末端一戸が補助対象外と
する根拠は何か。
マンホールの位置決定には基
準もあるが、設置場所を決める
権限は誰にあるのか。
②使用料金は処理区の建設時期
や地域の条件から差異もあり、
今後供用の地区も含めて統一化
を考えているのか。
③富田地区で新たに開始する事
業の事情はどこにあるのか。
下水道事業を控えて、今回の
合併浄化槽方式による面的整備
計画は評価するが、この際、農
排水事業の根本的な見直しも必
要となってきたのではないか。
④農集排水事業にはメーター制を
導入すべきではないのか。

問 メディアからマスメディア
時代に入り、現代の情報教育は
小・中学校時代からパソコン等
に触れるべきだと思うがどうか。
答 中央教育審議会答申では、
二十一世紀を担う児童生徒の教
育として、特に重要性を提示し
ている。

現在の整備状況は一校当たり
小学校は三〜六台、中学校は二
十一台で、陽明明中学校には四
十一台を設置している。
なお、学習活動を楽しく豊か
にする教材として活用し、平成
十一年度までに中学校は、生徒
一人に一台を整備し、順次小学
校でも児童二人に一台を整備す

答 ①この事業は、国が定めた
実施要綱に基づいて実施してお
り、運用は別に指導通達があつ
て、補助対象は「排水路末端の
受益戸数二戸以上の部分」との
規定があり、マンホールの位置

設定は事業主体の当市となる。
従って、受益戸数二戸未満の
「管路」「宅地内公共ます」等は
補助対象外となり、計画段階で
末端一戸が生じないように努力
した配管図案を地元へ提示し
て、十分協議も重ねているが、
国・県にはさらに補助対象とな
るよう、今後も要望を継続して
いく考えである。

②これまで個々の処理区毎に計
画し事業化してきた関係から、
建設費や管理費は処理区で異な
り、当初に使用料金を統一すべ
きか処理区毎に定めるべきか、
との議論を十分行った結果、処
理区毎に決めていくことが適切
であるとの結論を得た。
料金の設定は「管理運営に関
する基本方針」に基づく算出を
原則としており、今後も当分の
間は、この方針を基に処理区毎
に設定していく考えである。

事業の公共的な面からも、他
処理区との均衡等を考慮した場
合、将来もこのままの運用でよ
いのかとの考え方もあり、公共
下水道の使用料金が設定される
時期に合わせて見直しを行うこ
とが適切と考えている。
③富田中部処理区は地元の強い
要望もあり、国・県へ陳情した
結果、採択され
て補正予算に計
上した。
当該地区でも

生活排水等による用排水路の汚
濁が進み、早急に公共用水域の
保全を図り、生活環境をよくす
る目的で建設すべく、地元関係
者と建設費、完成後の使用料等
について十分協議を行っている
ところである。
今回、上舌区全戸による合併
浄化層での試案は、事業の転換
期にある当市の今後を考え、成
果を確かめる意
味もあるが、や
はり各地区から
の要望には対応

請願・陳情の審議結果

番号	件名	提出者	結果
継続分 平成九年 請願一 号	側溝損傷に伴う融雪 溝設置について	泉町一 区長 宇野 昭治 外七名	取下げ
請願四 号	JR労使紛争の早期 全面解決を求める請 願書	国鉄労働組合福井 県支部執行委員長 北西 七郎	継続審査
請願五 号	郵政事業の経営形態 堅持に関する意見書 の採択について	大野市連合婦人会 会長 阿部 保子	採決
陳情四 号	集団回収に伴う古紙 回収費用助成につい ての陳情	福井県再生資源事業 協同組合大野支部 代表 木村 正敏 外三名	不採択
陳情五 号	公共交通に関する規 制緩和導入について	日本労働組合連合 会福井県連合会 会長 森田 則夫 外一名	採択
陳情六 号	ブルサーマルと使用 済み燃料貯蔵施設増 設に反対する意見書 採択の陳情	若狭連帯行動ネッ トワーク 事務局 山崎 隆敏	継続審査

もしながら、今後の計画を進め
ていきたいと考えている。
④使用料金の算定方法には、一
律料金、水道使用量に対する比
例料金、人数割料金などがある
が、十分検討した結果、基本料
金プラス人数割料金による使用
料金が適切なものとして、現在
この基本方針を適用している。
現在、供用開始の処理区は区
営の水道が大部分であり、正確
な水道使用量の把握が困難のた
め、現段階ではメーター性導入
については考えていない。



国際交流について

問 ①五月末に実施した海外経済視察団訪中の内容について聞きたい。

②遼陽市との交流について、今後どのように考えているか。
③寧波市との交流について、今後の見通しはどうか。

答 ①この事業は、五月二十七日から三十一日まで、市首脳その他、経済視察団として総勢二十九名が中国遼陽市等を訪問し、人民政府首脳との会談を行い、合弁会社や石油化学コンビナート、幼稚園等を視察した。

また、ハルビンでは、日中合弁会社を視察するとともに、中国国内の交通事情や慣習の違いによる経営の状況等を聞いた。視察を通して、資本主義と社会主義の違い、人口規模の違いによる国民全体の底上げの困難性等が把握でき成果があった。

なお、遼陽市首脳とは、将来的に友好都市を目指す、当面は民間の技術交流を支援していきたいと考えている。

②遼陽市は、平成四年七月に研修生が縫製技術の修得を目的に來て以来、民間レベルで交流を進めてきたが、今後も商工会議所等との連携を図って、民間主

導による産業・経済交流を支援したいと考えている。

③本年秋には、大野市日中友好協会主催で寧波市を訪問し、友好を深めることになっており、今後は、同協会と連携を密にし、歴史文化を中心とした友好交流をさらに推進したいと考えている。

中小企業 資金融資制度について

問 ①制度の実績は利用率が年々低下しているが、原因はどこにあるのか。

②県の制度と比較した場合、貸付金利や融資額にも格差があるが、見直しの考えはないのか。

答 ①融資実績は数年、種別により変動があり、全体では金物件数ともに横ばい状態が続いており、昨年度は設備資金の利用が減少し、前年に比べて実績が低下しているが、短期の運転資金は例年並みである。

この傾向は県も同様で、現在の景気動向を反映していると考えている。

全国的には、景気の回復基調にあるが、特に当市の動きは鈍く、設備投資が低迷して借り控への傾向も強く見られることが融資実績減少の原因ではないかと分析している。

②制度融資は種別が多く利用しにくい面から、長期の運転資金と設備資金、及び商店街空店舗活用特別資金の限度額を大幅に拡大するとともに、Uターン者の受入れ企業を積極的に支援するため、融資条件を緩和し、運転資金と設備資金の併用も認めることにしている。

さらに、従来一種類しか利用できなかったが、商工業振興資金に限り併用を可能とし、利用しやすくなったと考えている。

また、貸付金利は、本年度より四月一日と十月一日の年二回を定時の金利改定日として、長期プライムレートが〇・五パーセント以上変動した場合、金融審議会に諮り見直しの検討をしたいと考えている。

地域医療基礎調査を 受けて

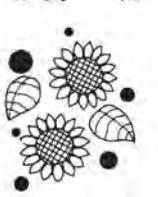
問 ①報告書では、地域医療の課題と今後の方向をはじめ、四項目からなる医療体制整備の問題を提起しているが、どのように受けとめているのか。

②この報告書を基にして、今後の取り組みと考え方や方針の決定までの計画などを聞きたい。

答 ①今回、調査報告のまとめが示されたことは、今後の望ましい方向を検討する手掛かりに

なつたと考え

ている。



客観的に奥越医療圏や当市の医療需給現状と課題を的確に把握したものと考えており、今後、市民に内容を十分周知徹底して地域医療体制整備の望ましい方向やアイデアを求めながら、この基礎資料を有効に活用していきたいと考えている。

②本年度、県の保健医療計画が見直される中、奥越医療圏における方向付けもなされるので、今回の報告書との整合性を図る必要があると考えている。

報告書の内容を市民に十分説明しておらず、今しばらく時間をかけて地域医療協議会で市民への周知方法も含めて今後のスケジュールも検討したいと考えており、市民や各関係機関の意見も聞き、地域医療の向上と市民サイドに立脚した地域保健医療の新たな体系づくりを構築していきたいと考えている。

中部縦貫自動車道の 今後

今後

問 ①現在、建設工事中の油坂峠区間は供用開始が若干遅れるとのことだが、当市における事業着手までのスケジュール等に

②愛知万国博覧会の開催決定が報道され、近県の集客という観点から、陳情活動にも変化が出てくるのではないかと。

答 ①当初の供用開始予定より一年近く遅れたのは、事業内容や経済的理由ではなく、一部用地買収が遅れたためで、大野、和泉間や他区間の事業着手には全く影響を及ぼすものではないと建設省より聞いています。

②世界万国博覧会の開催地が瀬戸市に決定したことは、今後、開催地へのアクセス道路としての機能を有する中部縦貫道の建設促進には、より一層の弾みがつくものと思われる。

また、従来の県単位にとどまらず、北陸三県あるいは広域的な規模で共同歩調を取るなど、地元熱意を強く内外に示す必要が出てきたと考えており、今後とも、事業推進には全力で取り組んでいきたいと考えている。

あなたも傍聴席へ

次の議会は九月に開かれます。一度、傍聴してみませんか。

本会議の当日、備え付けの受付簿に住所・氏名等を記入するだけです。

お問合せは議会事務局まで
TEL 六六一・一一一
(内線二五二・二五二)

委員会報告

各委員会における協議事項、意見、要望等の趣旨について、それぞれ委員長よりの報告は次のとおり。

●教育民生常任委員会

○高齢者対するはり・きゅうマッサージ療養費の助成について
制度の改正による事務手続きなどの簡素化は理解出来るが、現行の助成回数、年間三十回を四回にすることによって、一人当たりの助成額が減少することになり、制度の後退とも考えられる。

また、過去の利用者実績をみると、今後は、より多くの人の利用を目標として、制度の趣旨を十分に周知徹底し、実施に際しては利用状況も調査・分析しながら、柔軟に対処されるよう強い意見が述べられた。

○し尿処理施設建設工事請負契約について
市民生活に直結した必要不可欠な施設の重要性にのっとり、稼働に向けた事業の執行に際しては、施設設備の特質性を十分

に認識して精査・研究を重ね、慎重かつ厳正に対応するよう強く指摘があった。

○陳情四号 集団回収に伴う古紙回収費用助成についての陳情
古紙等の価格変動が激しく、現状のみを考慮して業者に助成することは困難であるとして、全会一致で不採択と決した。

○陳情五号 公共交通に関する規制緩和導入について
公共交通機関は、地域住民に日常不可欠な存在であることから、規制緩和導入に際しては、公益・公共の維持と安全輸送、利用者の利便確保等の観点に立った見直しを求める趣旨でこれを了として、全会一致で採択した。

○「お年寄りにやさしいまちづくり交通安全宣言」に関する決議の要望については、全会一致でその趣旨に賛同して別途、決議を市会案として提出することで意見の一致をみた。

●産業経済常任委員会

○農業集落排水事業について
末端一戸の問題などに関して改めて詳細な説明もあったが、補助対象外となっている末端一戸を、なるべく少なくするため

の努力と受益者との協議を今後也十分に続けるようにとの意見が述べられた。

●建設常任委員会

付託案件の審査に入る前に、委員長報告の受けとめ方について、理事者からは事務事業の執行に際しては、鋭意努力して行るとの説明がなされた。

今議会で特に論議の的となっている「都市マスタープラン」についての経過報告、基本的な考え方等に論点が集中した。

「都市マスタープラン」に関して、理事者の対応についてはある程度の理解が示されたものの、まず、有終西小学校の移転等については、実現可能な方針

の提示をするようにとの意見が強く述べられた。

○城町一号線河川改良事業（せせらぎの川）について
流雪溝の整備であることは理解しているが、観光ルートの一貫として周辺の景観を考慮するとともに、年間を通じて水量の確保に配慮し、整備されるよう意見が述べられた。

○請願一号 側溝損傷に伴う融雪溝設置について
提出者より取り下げの申し出を了承した。（継続審査分）

●総務常任委員会

○請願五号 郵政事業の経営形態堅持に関する意見書の採択について
この二件は、なおまだ慎重な審査を要するとして、全会一致で継続審査と決した。

可決され関係行政庁へ提出した意見書および決議
○「お年寄りにやさしいまちづくり交通安全宣言」に関する決議

◇郵政事業の経営形態堅持に関する意見書
◇公共交通に関する規正緩和導入に関する意見書

郵政事業の分割・民営化論に対する現行経営体制の堅持を求める趣旨を了として、全会一致で採択した。

○請願四号 JR労使紛争の早期全面解決を求める請願書
○陳情六号 プルサーマルと使用済み燃料貯蔵施設増設に反対する意見書採択の陳情について
この二件は、なおまだ慎重な審査を要するとして、全会一致で継続審査と決した。

議会日誌

- ◆3月
 - 26日 大野地区消防組合議会
 - 27日 大野・勝山地区広域行政事務組合議会
- ◆4月
 - 10日 福井県市議会議長会定期総会（多田記念大野有終会館）
 - 23日 会派代表者会議、議会運営委員会
 - 24日 北信越市議会議長会定期総会（金沢市）
- ◆5月
 - 1日 岐阜県根尾村議会特別委員会行政視察受入れ
 - 19日 総務常任委員会協議会
 - ☆特豪・正、副委員長市会議
 - 22日 ☆特豪・幹事市事務局局長会議
 - 26日 教育民生常任委員会協議会
 - 28日 全国市議会議長会定期総会（東京）
 - 27～31日 市海外経済調査視察事業（中国：遼陽市他）
 - 29～30日 総務常任委員会研修（滋賀県：近江八幡市、日野町）
- ◆6月
 - 1日 クリーンアップ大作戦（馬清水のゴミ清掃）
 - 2日 会派代表者会議、議会運営委員会
 - 4日 三市町村正副議長会（美山町・和泉村・大野市）
 - 5～6日 建設常任委員会研修（岐阜県：安八町、南濃町）
 - 9日 議会運営セミナー（中央から講師招へい）
 - 10日 議員全員協議会

☆特豪＝北信越市議会議長会
豪雪等災害対策特別委員会☆